

令和8年 第1回 こども未来プロジェクト～Season 4～

【開催日時】令和8年3月4日(水) 15:30～16:30 オンラインにて

【生徒参加者】保土ヶ谷中学生徒5名 新井中学生徒6名 境木中学生徒4名

【スタッフ他参加者】ファシリテーター

Season2メンバー 1名(高校生)

副校長1名 教諭3名

こども家庭支援課学校連携担当職員3名

【本日の流れ】

1 自己紹介

2 こども未来プロジェクト 運営方針 及び Season3 までの活動内容

○他の人のアイデアを否定しない・どんな発想のアイデアも受け入れる・質より量・結合と改善
そして とにかく 楽しむ

○このプロジェクトは、大人の区制 100 周年準備委員会より早く、令和 5 年から活動開始

・令和 6 年:このプロジェクトを知ってもらう認知活動(広報紙掲載・駅アナウンス・ポスター制作等)

・令和 7 年:プロジェクトに興味をもってもらう企画活動

(区民まつりワークショップ開催・プロジェクト T シャツ作成・区長ミーティング等)

・令和 8 年:今まで出してきたアイデアの実践準備に入る

どきどき わくわく度を上げていく年になる。

3 区制 100 周年事業とこども未来プロジェクトの関係

区の方針「いつまでも住み続けたいまち ほどがやを 未来へ」

～これまでの保土ヶ谷区がどんなまちだったのか

これからの保土ヶ谷区はこんなまちにしていきたい みなさんのそんな想いを形にするために

この周年行事に取り組みます～

○過去と現在の部分は、大人の 100 周年準備委員会に任せる(グッズ等製作物)

・令和 7 年 12 月の区長ミーティングの場で、グッズのアイデアや思い等を伝え、区長からも期待の言葉をいただき、この段階は一段落とする。

○「これからの保土ヶ谷区」の未来の部分が、まさにこの未来プロジェクトの担う部分

これからの 100 年につながるアイデアを考えるために、企画の立て方を学ぼう。

4 今日のミッション

「今までの先輩たちのアイデアも入れて、小学生以下の子どもたちも楽しめるイベント案を考えてみる」→模擬ワーク「子どものまちをつくろう!!」に挑戦

○「子どものまち」とは・・・

- ・プロジェクトメンバーが、まちづくり担当職員
- ・参加者は区民。住民登録→ハローワークで仕事を探す→仕事体験をして、給料をもらう→給料から税金を払う→区民は消費者としてまちを楽しむ。プロジェクトメンバーは納められた税金で、新たな区民の楽しみを企画する

○ワークの内容（中学校ごとに1～2分話し合い、それを発表しました）

① 子どものまち（～区）の名前を考えよう

- ・本日の主谷区（しゅやく）・笑顔あふれる保土ヶ谷区
- ・リトル保土ヶ谷区 ・3H（ハッピー・ハートフル・ホドガヤ）区

②まちづくり職員の仕事を考えよう

- ・区長 ・宣伝、広告作成 ・予算、決算 ・イベント開催 ・受付 ・電話対応 ・防災 ・子育て支援
- ・環境保全 ・住民票 ・区民が安心する仕事

③区民になる方法を考えよう

- ・引っ越しして住民登録して税金を払う
- ・ほどぴー版の住民票や身分証明書、マイナンバーカードをもらう → この取組に、ほどぴー缶バッジが使えるかも

④区民の仕事（100年先を見通して）を考えよう

- ・警察、消防、救急、災害対応等は100年先も残っていると思う。
 - ・製作や企画（例：給食スペシャルメニュー・記念銅像・商品券・空飛ぶ車 等）
 - ・AI 開発や修理、管理
 - ・SDGs 関連
- 上記の仕事について体験を誰に依頼するか、また、税金の使いみちをどうするか等、プロジェクトメンバーで考えていく方向

⑤区民がお給料で体験できるお楽しみの内容を考えよう

- ・ほどぴーグッズが買える
- ・ガチャポンができてお菓子やほどぴーシール等がもらえる
- ・ほどぴーパッケージのお菓子が買える
- ・優先して（並ばないで）遊具で遊べるパスがもらえる
- ・ミニ縁日やゲーム大会に参加できる回数券が買える

4 今後の予定

○次回までに今年の活動を具体的にして、来年も含めて活動を計画していく。

○プロジェクトメンバーで考えた「子どものまち」イベントを 100 周年（令和 9 年）で実現するために、今年の区民まつりでプレ開催という方向で。

（ミーティング第 2 回は 4 月下旬～5 月 第 3 回は夏休み前 第 4 回は 9 月を予定）

【参加生徒の感想】

- ・1 人では考えられない案がいろいろでてきて、すごいと思った。刺激になった。（複数意見）
- ・考えていないことを聞くことができ、より未来プロジェクトが楽しみになった。
- ・区のことを一生懸命考えることができ、楽しかった。
- ・本当に実現していきたいと思った。ありがとうございました。
- ・他の学校の意見を聞き、（いい意味で）驚かされた。有意義な時間をすごせた。次回も共感できるとよい。
- ・自分たちの未来を自分たちで考えるという目的を知り、イベントを創るのが楽しみになった。
- ・中学校卒業となるが、忙しくてもイベントには顔を出します！
- ・駅構内アナウンスから始まり、これからも意見交換して実現できるイベントを楽しめたらよい。
- ・いろいろな企画を考えると、このような順番で進めていると分かり、面白かった。

PC が不調で聞きにくい状況となってしまう申し訳ございませんでした。

そのような中でも、生徒さんたちが活発に意見をだしてくださり、有意義な時間となりました。

ご協力くださった先生方、ありがとうございました。

担当：保土ヶ谷区こども家庭支援課学校連携・こども担当